

## 2021年度 事業報告書

### (総括的概要)

2021年度は、前年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻により世界を巻き込む様々な問題から大変厳しい状況が続きました。

また、原油高、急激な円安進行、物価高等、消費マインドの低下を招く予断を許さない環境が続いていますが、なんととしてもこの難局を乗り越えていかねばなりません。

当 IFI ビジネススクールは、2020年度から推進してまいりましたオンライン授業がしっかりと定着し、リアル(対面)とのハイブリッド型により徹底した感染防止策で安定した運営を行うことができました。

講義、グループワーク、演習発表等については支障を期すことはありませんでしたが、講師の先生方や仲間同士の交流会が満足に行えず、一部課題を残したことも事実です。この点につきましては、受講生のしっかりとしたネットワーク創りを考えて職員一同できる限りのフォローをしていきたいと思っています。

次にエグゼクティブコースに関してですが、残念ながら新型コロナウイルスの影響により2020年に続き開催を断念せざるを得ませんでした。しかし、一條学長の強い思いから4月に「事業をデザインするリーダーの時代」、10月に「デザインとテクノロジーで未来を創る」のテーマでオンラインセミナーを行い、多くの意見交換も行われ大変好評でした。

2022年度は、どんなことがあっても開催するという決意で詰めてまいりました。一人でも多くの経営トップ、役員の方々に参加して頂き、素晴らしい登壇者の方々と共に次代のファッション産業について語り合える場にしたいと考えています。

また、ファッションビジネス研究会、ロジスティクス研究会につきましては、年間通して活発な運営をすることができました。

次に、事業収支につきましては、収入の部において資産運用利息収入では円安の追い風もあり予算を達成することができましたが、事業収入ではコロナの影響もあり予算未達に終わりました。支出に関しては経費を予算内に押さえることができ収支差額は△10百万ではありますが予算達成することができました。

2022年は、財団設立30周年、IFI ビジネススクール開校25周年という大きな節目の年です。不透明で厳しい状況が続くと思われませんが、IFI ビジネススクールとしましては講座編成、カリキュラム再編に取り組み、人材教育、人材育成に邁進してまいります。

## 2021年度 事業活動概要

### I.事業実施状況

#### 継続1事業

#### 基幹コース

●エグゼクティブ・コース 開催中止（10月に代替無料ウェビナー配信）

●プロフェッショナル・コース

現場実務者向けに週一回（夜間）半年間に渡る実践コース。ファッション・ビジネスの第一線で活躍している講師陣による講義を通して、知識を習得すると共に、グループワークによる「課題発表」などを通じて受講生相互間のネットワークを構築。

2021年度前期より、「店舗MD」と「ファッションMDの実践」の両講座を統合し、「ファッション・マーケティング店舗運営編」と「ファッション・マーケティングMD編」として再編。

更に「ファッション・マーケティングMD編」は、水曜日を教室開催講座、木曜日開催を完全オンライン講座として受講の幅を広げた。それにより、木曜日のオンライン講座には地方からの受講もあった。

上記、統合、改変の意図は「創る仕事（企画）」「売る仕事（店舗）」という狭義の分業の概念にとらわれずに、顧客・消費者の欲しいものを知り、創り、造り、伝え、届け、お客様と繋がり続ける目標を、社内各部署の協業により実現することが重要な現代、「企画」「店舗」の双方から同じ課題を掘り下げることによって、社内外の協業を「お客様視点」で実践するスキルを習得してもらうことにある。

「モノ創り講座」を改変して2年目をむかえた「バリューチェーン講座」は、AIを駆使して新しい時代の「商品価値」を創っている企業の経営者、実務者との交流も深まり、受講生が実務において講師の方との繋がりを持ったり、コーディネーターの河合氏と講座外でもオンラインで交流を持つなど、実務をベースにした関係性が生まれている。

「デジタルビジネス講座」は、コロナ禍においてもコンスタントに受講生を確保している。完全オンラインの講座であるも受講生のリモート講義への順応は目覚ましく、初対面のグループワークもオンラインできちんとまとめ、成果を残している。講座の内容の進化、深化はもとより、オンラインでのワークを経験できること自体に受講価値があり、ここでも講師を交えた相互交流は深まっている。

全体としての受講生の確保の結果は、前期は受講生の確保に苦戦（19年82名・20年中止・21年48名）するも、後期は前年水準（前年82名・21年78名）に回復した。

2021年 プロフェッショナル・コース 受講生内訳

講座名	期間	開催日	受講者（人）
<b>【前期】</b>	4～9月		
◇「ファッション・マーケティング 店舗運営編」		月曜	5
◇「ファッション・マーケティング MD 編」		水曜	9
☆「ファッション・マーケティング MD 編」		木曜	6
☆「デジタルビジネス講座」		木曜	22
★「バリューチェーン講座」		金曜	6
			48（名）
<b>【後期】</b>	10～3月		
◇「ファッション・マーケティング 店舗運営編」		月曜	6
◇「ファッション・マーケティング MD 編」		水曜	17
☆「ファッション・マーケティング MD 編」		木曜	18
☆「デジタルビジネス講座」		金曜	26
★「バリューチェーン講座」		木曜	11
			78（名）
合 計			126（名）

◇：教室開催講座 ☆：オンライン専用講座 ★：オンライン併用講座

●アドバンス・コース

受講生実績 6名（19年9名・20年中止）

20年度は開催を見送った当コースも、昨年は受講生の労働環境や働き方の変化を考慮して開催方法を変更。個人で学び、深く考えるカリキュラムはオンラインで、集合での演習が重要なカリキュラムは教室開催でと目的、成果を明確にして、業務上で重要な任務を担い多忙な受講生の方々に、受講しやすい環境を整えている。

また、本年度より、効果的に講義を理解するため、オンデマンド（ビデオ）視聴による事前課題学習を導入した。

カリキュラムにおいても、特定分野のスキルアップに偏ることなく、経営に必要な多分野にわたる基礎知識やリーダーシップ、コミュニケーションの能力を身に付けてもらうことは従来と変わらないものの、現状の経営課題に対する認識と、即効性のある解決策を模索し、将来はもとより、現状の実務に役立つ情報・方策を得てもらうことを意識させた。

## 特別プログラム

### ●短期集中講座

特定分野を深耕する為に開催する、短期集中講座。

2020年度は開催中止。その間にオンデマンド化を図り、21年上期よりリニューアルして再開

#### ☆ 実践ビジュアル・マーチャンダイジング

「事前の録画学習」＋「ライブ講義受講」＋「リアル実習」

オンデマンド学習、リモート講義と実習を組み合わせた形態にリニューアルし

今の時代に合わせ受講する方のペースで学べるように改革

前期 5/24～6/24 事前動画予習＋ZOOM 講座2回 現地実習1日 受講5名

後期 1/31～2/15 事前動画予習＋ZOOM 講座2回 現地実習1日 受講4名

☆ E-ラーニング 「アパレル素材の基礎知識」 21年受講実績 11名

☆ E-ラーニング 「洗濯・保管の基礎知識」 21年受講実績 7名

9月よりシステム改修のため展開を中断

21年度より VIMEO システムを使用したオンデマンド・プログラムとして再開

#### ☆ 「アパレル素材の基礎知識」1日集中セミナー

講座内容をリニューアル

「E-ラーニング」との内容の重複を最小限に抑え、「クレーム事例」や

「景表法・品質表示法」等、素材の選択に起因する実務上の事例を加味。

索してわかる知識より、実務で備えておくべき実践知の提供にシフト。

前期 5/25 開催 受講 12名

後期 11/25 開催 受講 13名

### ●地方開催講座

プロフェッショナル・コースの地方開催の要望に応じ開催していた大阪開催を19年より拡充。

「MD 講座」に「店舗 MD」「デジタルビジネス」の要素を加え、従来の5日間開催を8日間に拡大して年1回下期に開催。(金曜 10:00～17:00 8日間開催 於：大阪ドーン・センター)

2021年は10月第二週から12月第一週にかけて毎週金曜日、全8回開催。

新型コロナウイルスの影響もこの期間は少なく、対面授業で開催し、無事修了することができた。

	期間	受講者(人)
・大阪開催講座 (金曜日終日 8日間開催)	10月～12月	計7

## ●大学講座

「ファッション人材育成事業」の産学連携プロジェクトとして、学生のファッション産業に対する正しい理解と、有能な人材を業界内に受け入れる事を目的に、大学の学部にファッション・ビジネスの基礎講座を単位付で設置し。2021年度は5大学で6講座を運営。

大学名	学部	講座名	受講人数
青山学院大学	青山スタンダード教育機構	感性ビジネス講座 ファッション産業のフロンティア	500
青山学院大学	青山スタンダード教育機構	感性ビジネス講座 ファッション・ビジネス戦略論	500
東京経済大学	経営学部	ファッション・ビジネス論	300
同志社大学	経済学部	クリエイティブ産業論	400
東京都立大学	経済経営学部	経営学特殊講義 ファッション産業の現在	300
計		4大学 7講座	2,000

1

## 継続2事業

### ●調査・資料収集

図書および資料の収集並びに一般への公開

ファッション・ビジネスの調査・研究に有益な図書並びに資料等を収集し、広く一般に公開。  
講座講師の書籍を購入・受講生に貸し出しを行う

## その他事業

### 他1事業

#### ●カスタムメイド・プログラム

企業や団体の要望に応じ、最適なカリキュラムを構築し、研修を実施、初期の目的を達成していくプログラム。

2021年は感染症拡大により、企業の対面・集合研修の禁止や、移動の制限に加え、収支の悪化が影響し、前々年10件の実績が3件にとどまる。

☆ 大阪メンズアパレル工業組合 単日セミナー

☆ 岩崎学園 F-カレッジ 通期 : 前後期15回 「流通論講座」 継続開催  
後期 : 「デジタル接客講座」全3回 を新規開催

☆ 株式会社三陽商会 「若手社員研修①」「若手社員研修②」

2022年は、当プログラムの有効性を整理したうえで、各企業の実状をヒアリングするところから再開。各企業の現状と、目指す教育体系に合わせた提案を行い実績回復にあたる。

## 他 2 事業

### ●調査・研究事業

#### 1. 「IFIファッション・ビジネス研究会」

2011年に業界改革の一助となるべく立ち上げた当研究会も開催を重ね、本年度中に100開催を越えるも、2021年度の会員企業数は状況を反映して前年の47社から46社に減少。

感染症対策として会場開催をビデオ配信に切換えて2年目、従来の会場開催に於いては各社4名と参加人数に制限を設けざるをえなかったが、オンラインのビデオ配信では受講制限を設けずに、会員企業内で自由にURLを拡散してもらい、多く方に聴取してもらう受講形態に変更したことに対して、会員企業から高評価を得た。

2022年もこの方式は継続（会場開催の場合も後日、ビデオでの配信を実施）

尚、エグゼクティブ・コースの開催中止を受けて、10月度のFB研は、会員企業に併せて、過去にEXコースに参加した方を招待して、一條学長のウェビナーをライブで開催。

土曜日午前中の開催にもかかわらず、約100名がライブ受講して活発な質疑が交わされた。

#### 2. 「IFIロジスティクス研究会」

2017年より開催する「ロジスティクス革新」を学ぶセミナー形式の研究会。

AIの活用によるイノベーションが大きな潮流となっている現代、「物流」領域の進化は目覚しく、ファッション産業において、オムニチャネル戦略の肝は「物流」にあるとも言える。

当研究会、2021年度は、テクノロジーの進化、先進企業の事例の研究から一步踏み込んで、「オムニチャネル」が、顧客のウェブ上での行動情報を取り込んだ「ユニファイド・コマース」に移行する事実を踏まえて、流通過程全体を考えてロジスティクスを捉えなおした。そのため、SDGs推進や在庫適正化、二次流通、リバース物流等も研究テーマの核となった。

☆2021年開催実績	:	前期	4月～9月	各月1回開催	計6回	受講実績16名
		後期	10月～3月	各月1回開催	計6回	受講実績13名
				計	年間29名	(20年 23名/年)
教室開催			18:30	～	20:00	
現地研修			半日程度	各期1回開催		

## ●交流・協力事業

### 1. 墨田区との共同事業の推進

墨田区は当財団の最大の出捐元であり、地元の繊維ファッション企業も多くが出捐している。その墨田区との連携を一層強化するため、「墨田区・IFI連絡協議会」において「ファッション産業人材育成支援事業」（授業料補助）の制度を活用して地元企業に還元した。さらに「すみだ次世代経営研究協議会」に委員として参加したほか、地元の東京ニットファッション工業組合（TKF）に、IFIがどのような貢献ができるかについて意見交換した。

### 2. 繊維ファッション産学交流会議

繊維ファッションに関わる企業と学校関係者との交流を深めるため、「繊維ファッション産学協議会」にIFIも加盟しており、理事長が同協議会の理事を兼務。

### 3. 日本プロフェッショナル販売員協会

消費者ニーズが多様化・高級化する中で、ブランドを差別化して更なる業績の向上を図るには、消費者に商品の価値を伝える販売員の役割が重要。その地位向上を図る目的で設立された同協会に於いて、会員企業から派遣された販売員のためのスキルアップ講座を推進。

## 報告事項

### ★教室開催講座における感染症拡大防止策に関する報告

#### 【教室講座実施における感染症防止対策】

- 1) 手指消毒スプレーの常設
- 2) マスク着用の徹底・予備配布用マスクの常備
- 3) 講座定員数の削減  
各教室定員数の50%以下（20名）に制限した運営  
着席時の間隔 1.5Mの確保  
着席状況の記録化
- 4) 入室時の体温測定  
非接触型体温計（パネル式）を設置しての検温  
出席簿へ体温データの記入後の入室
- 5) 二酸化炭素濃度測定器の常設
- 6) 教室換気及び加湿の実施  
業務用大型送風機による定期的な強制換気  
（FKCビル自体の換気は100%外気循環で運転）  
業務用加湿器（2000ML/時）の設置
- 7) 飛沫対策・アクリルボードの設置  
対面する教卓にアクリルボード（3面）の設置  
グループワーク用テーブルのアクリルボードによる遮蔽
- 8) コーディネーター・職員のマスクまたはフェイスガードの装着  
希望する受講生へのフェイスガードの供与
- 9) 机、備品などの消毒の励行
- 10) 体調不良の申告の奨励（受講後も含む）



## II. 会議開催状況

### 1. 理事会

#### ●第24回理事会

開催日：2021年6月4日（金）

場 所：第一ホテル両国 会議室

- 議 題：① 2020年度事業報告書(案)の承認を求める件  
② 2020年度財務諸表等(案)の承認を求める件  
③ 2020年度公益目的支出計画実施報告書（案）の承認を求める件  
④ 評議員の退任及び選任に関する件（案）  
⑤ 評議員会招集(案)の承認を求める件

#### ●第7回理事会議

開催日：2021年12月3日（金）

場 所：第一ホテル両国 会議室

協議・報告事項

- ① 現況報告  
② 2021年度収支見通しについて  
③ 債券運用状況について  
④ スクールの来季構想について

#### ●第25回理事会

開催日：2022年3月4日（金）

場 所：第一ホテル両国 会議室

- 議 題：① 2022年度事業計画(案)の承認を求める件  
② 2022年度収支予算(案)の承認を求める件  
③ 常勤役員に対する報酬の支給に関する件  
④ 評議員会招集(案)の承認を求める件

## 2. 評議員会

### ●第20回評議員会

開催日：2021年6月25日（金）

場 所：第一ホテル両国 会議室

議 題：① 2020年度事業報告書(案)の承認を求める件  
② 2020年度財務諸表等(案)の承認を求める件  
③ 評議員の退任及び選任に関する件（案）

### ●第21回評議員会

開催日：2022年3月23日（水）

場 所：第一ホテル両国 会議室

議 題：① 2022年度事業計画(案)の承認を求める件  
② 2022年度収支予算書(案)の承認を求める件  
③ 常勤役員に対する報酬の支給に関する件